女八人奉

## 

### (火)日八十月九 **国 編 数**

事變三周年を迎へ

びゆく新京

満洲景氣に乘つて うつり變る附屬地の面影

は吾々同胞に取つて、忘れんとして忘れることの出来だい配念日に際して朗かきざるしい超数展への急行漢であつた、われ等はいまけふの配念日に際して朗か尊は一變した、過去の田舎町長春がその名も「新京」と改められ、一躍新興國の幕壁に求いで來りしるの。それは輝かじい満洲國の成立であつた、俄然稱東の形幕壁に求いで來りしるの。それは輝かじい満洲國の成立であつた、俄然稱東の形幕壁に求いで來りしるの。それは輝かじい満洲國の成立であつた、俄然稱東の形幕壁に求い。漢如柳條溝の大異變に夢發られて、こゝに三周年、けふ九月十八日思出は深い、奕如柳條溝の大異變に夢發られて、こゝに三周年、けふ九月十八日思出は深い、奕如柳條溝の大異變に夢發られて、こゝに三周年、けふ九月十八日

三千萬民衆に取つて、特望の上道樂土、満洲園が雄々しくもスタートを切つた、と同時に暗天の霹腰にも似て俄然湧き起つたもの、それは全日本上下をあげての満洲熱そのものだ、世は全く満洲時代、その中心はいふまでもなくわが新京だつたのである、新京へ、黄金景策を目ざして

附屬地の卷

人口の過剰は忽ち住宅離と化 現出した、一歩街頭に出ると 黄塵の渦卷だが、こうなると 折角朗かなるべき新京景気も 一向寧ろ大きな悲惨事でもあ

(この項未完) 満洲國の司法官を志す満人に とつて唯一の登龍門として来 る十月十五日開校の運ひとな つた司法部法學校入學試験は

想以外の大多数の應募があり 京三個所に於て行はれたが、 京三日七十名、ハルビン日九十三 百七十名、ハルビン日九十三 名、計一千二百十名と云ふ豫

事變前後の附屬地人口を調べ を名来る、怒濤のやうに押寄 を名が、数かに、数かに

興凱湖航行

保証問題を協議

昭和六年八月は内鮮満外總計三萬二千七百六十四名、それ十九名、八年八月に三萬七千三百二十九名、八年八月に四萬六千二百三十七名、ついで本年八月には五萬七千五百二十名と

健康第一 一、王道國家論 一、法律の淵源論 一、法律の淵源論 一、法律の淵源論

大川周明博士 あす論告

【東京図通】大川周明博士の で、十九日午前九時 で、十九日午前九時 で、十九日午前九時 れる筈である 岸博士召喚さる

つい場い言葉を出し、もうそのでない言葉を出し、もうその 1221 になるんだ「 時間に、後悔しながら、 『何が無理だ、さういふでなり 一個をみい館を さういふ了館だ

**死る日も壁の中だ。それでやつ** みたいな戯けら棚手に来る口も ん、無理とも思はん。ありがたとこさ一家管族の命をつないで いと思ってるる。 なのだ。そ 食べて、酸をしつ

日本の聯盟脱退が厳かに通告

脱退後の日本と

はなかりといふものはない。 を変して、一般にながら、是非もなく解子を を変して、一般にない。 のなんだぞ、辛い、胸盤といふものはない。 を使ひしばって、地壁ない。 でかさない。天井一杯 にとつては、外に殴ってな、 酸はお紙一つ響んで、 酸はお紙一つ響んで、 でとつては、外に殴っ で、 が、一次 を のいったとへ乏し の食事がある。雨記 惜みもない。 か出来る。おとなし ない数される憂ひ 陥れる必要もな 共能一般 化

を模察するはず を模察するはず を模察するはず 郡山理事 - 外の人の邪魔になる。一人出 代りに笑は とちの小便の骸人ぢやないんだ 『はゝょゝ からな』

行前り類分除去され居らぬ現 日間の豫定であると 「東京國通」 八務省の人事は 七時中「ハト」で東京國都本 「東京國通」 八務省の人事は 七時中「ハト」で東京國都本 う此の上来相が 出してやる

刷新を企圖

いちゃないか っまだてめえの話は、

法學校入學應募者

千二百に上る

満洲國司法官唯一の登龍門

△乙班論文

を申請中のところ今回應々許可されたので去る十一日午後 大時會員一同は三宅武市氏宅 に集合し役員決定後、更に互 に集合し役員決定後、更に互 に集合し役員決定後、更に互 上れが競會式を挙げ二十四日 大氏外の役員を奉げ二十四日 大大時代、副會長に安部五平 大で力で、間島内の商工會は延 古を以て最初とするので龍途 本省地方を通じ相當廣汎な異新の必要を認め十月上旬迄に

港の彼女達=

无

巡査は突然変ひ出した。 変はねば、ならんと では変な変ない出した。

言つてきかせたつて

森峰一代議士 全ななり

メラシの

少し成立前になった。 無理といふものだ 能くはな 歌なり成に出る。

う此の上半抱がしきれないのに 話しんでるのに、も 強さいたら なら、 つと大きな仕事をしろ

て、その手には乗らねえぞ。一方。てめえら、臓を繋ざうたつ ーてめえの路が着くなったら えたいると しまして、ありがと

あ

共は、特践者や、 置場では、頭大心人 何でもいるから大 来いっそしたち大

一陽堂闘の

参を乞ふ 総条師勳七等吉田光 壁町 公 學 役前 土地家写

育招タイプライターA 新京永樂町 新京永樂町 印書應 カー教育が

京二架町醫院前一貫堂 宗政朝多忙に付募集川派遣帰會



質品安震 屋 多

最新用八二九番間治療院 報文第 \$ XXX • XXX

**」通解**:東

招聘

電三四三八番

電四九〇六番四九〇六番 刷印 三克

**科樂社印刷部** 

印 刷電話五九二三書 報言の四七番

お機話は黄日 東側し金 高價買中央通り掛間商負責石部(郵便局頭)

评业湖

**洋服**植

東京爲料理 4 T 走松町 大き 味 もと姉妹店 4. の脚來談を云ふ 關 わか天まで ť 電二八〇九番 西

この外交苦殿史の評過は今ここの外交苦殿史の評過は今ここの外交苦殿史の評しないが、よくもあれずけの忍耐をステムソン長官の匿々の干渉的抗議や聯盟の被告呼ばはりに持續や聯盟の被告呼ばはりに持續を思ふのみである最近の軍事行動に伴ひ一九

九

FI

リット 報告書空文化さる

其後の國際環境

日満兩國の少調 しく進む

を代表として強ねてより個事 を代表として強ねてより個事 を代表として強ねてより個事 を代表として強ねてより個事 を代表として強ねてより個事

る限りあながち樂土でないこ を物語つてゐる 一、滿州國司法の前途 二、五族協和論 にか數學五題

「東京國通」ロマノフ王朝の 遺費五十億圓事件の影に踊り 神様の御託宣で費玉は確かに あると云つて無智な者から金 を掲上げてゐた明道會の岸

アが対すて 浪で等。見 者とはせる。 つくりする。よし、無事情がある。よし、無事情がある。よし、無事情がある。よし、無事情がある。よし、無事情がある。よし、無事情がある。よし、無事情がある。 お蓮は、あだかる英雄

出ても、値一つ月配し、 無銭飲食で配着は、 なのである。しかし、 |賣|賣|地|家

を宣言しながら實際は乘務を 「東京國通」 龍菜休止、業車 市電罷業團

世間の奴等が、び 大きなことをやつ

の程を……………… 附屬品取揃へてあります

何卒御用へ 命の附

指者氏名の競談を見る 管でる を持ち込みである。 とては來る廿六、七新京司法 とては來る廿六、七新京司法 を表が行はれ十月上旬には合 を表が行ばれ十月上旬には合 について行はれ厳選に骸選を

## 理由が 在滿機構案の大使命を果した 西尾參謀長歸京談

を縮小改變、即ち從來 Eにあつた日本の行政 関係改革の特徴は在

近く嚴重交渉開始

滿洲國產業調查

選罪に於て支那は遂に落選し本日聯盟總會の非常任理事國

資團代表 白耳義投

観察の感想談

日本より簡任技工

止五六名招聘

中學校長團

築

皆様御聲援を得て漸く

一月初旬に

設立

◆矢田七太郎氏(金護府参議) 同上 ▲エフハイエ氏(大連駐在獨 人工) 尾中 略 (関東軍参謀 長) 十七日午後七時三十分 着内地から 一二荒芳徳伯(日本少年順聯 合理事長) 同上 「日本少年順聯

新

九

日

開

**脳岡方面の大學専門學校卒業** で、一方之等人 ある技術家或は東京、大阪、 されるもの三四 ある技術家或は東京、大阪、 されるもの三四 は、 合藩州に於

人員の擴張に伴 にても直接採用 にても直接採用

は十九日午後一時五十五分着全國中學校長團一行百十二名

明日來京

、荒京ホテルにそ

ふのなら致し方のな 地のそれも多種に亘る利害いか、しかしまあ促進といいか、しかしまあ促進といいがやない。

#### 林陸相語 事 三 周 年 か 回

顧

避展を逃げ、且我帝國の友 度満く整つて着々堅實なる 度満く整つて着々堅實なる

激なる場合

週すべき事は想像に離から とするがあるが更にこれを整備完成して質に王道樂土整備完成して質に王道樂土を がため には前途尚幾多の離陽に 遺 界に誇つてゐる現 環じた皇軍の武動 でこれ。 である現 に絕大の援助 大義のため活の大義のため活の大義のため活の記職も漸く正に満洲帝國に大に満洲帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に大に満州帝國に

首相 観けて來た

大角海相談

職なくも惹起された満洲事要 は恐らく日露勝等以來帝國が 遭遇した國際事變中最大のも のとして聞いずも我帝國の興 進展して上海事變の勃發とな のであるが、事態は以後更に

し関策の大道に基き現實にのためには更に氣を新たに、

は恒に坦々たるものではない勢展せんとする國家の辿る途 てまだ解決されたものでもな 我々に関せられた困難は決し

ならない

二十日午前八時三十日午前八時三十分發南行時三十分發南行時不京協和旅

▲ナナ支日 米ゴーロ 日本 米ゴール 音響

る、我々は故に於て益々團結 は尙幾多の辦關が横ばつてゐ にない、帝國の前途に

土肥原

長は左の如き感想を述べた 本人は消刑事變によつ

記念日に當り 少

七五三一古十现

最近朝野各方面に在満機關 統制問題等で決議宣言等を なして就々たる論議をなす ものがあるが、之は自己が ものがあるが、之は自己が 動と言はなければならない 想起し日満兩國の勝和結合 想起し日満兩國の勝和結合 け、又重査を負ふて居る、 譲者といふ絕對の信頼をう 新理想國家建設の幇助者保

本英傑替 「弗口」並入分五 大英俊地 三叶三分三 同 先物 三叶三分三 同 先物 三叶三分三 同 先物 三叶三分三 同 先物 三叶三分三

步太安高昨 日 日 植寄植值引 標金

九五五

大きる

業

待合 桐桐

開業いたしました

優雅な座敷 落ついた御氣分

的残滓が微塵もあつて

支那非常任

渉が開始される筈である変形側當局に向つて吸重な変

三十分清列車で入京、來月十二荒芳橞伯は十七日午後七時

力によつて開設されて居る豊富な養瀬があり日本人の

全面的に躍進する

(朝刊の観ぎ)

(下)、

別に特別會計と
の乗事を組
なしの乗事を組
なしの乗事を組

大きない。 一、金融状態の革新に多大の努力を排び舊政権時代の主 三千萬圓を以て大局元年七月 一日中央銀行を設立するに至 一日中央銀行を設立するに至 で高収すると共に新紙幣の流 がであった、数に於 で高別を持び舊政権時代の主 三千萬圓を以て大局元年七月 一日中央銀行を設立するに至 でを同收すると共に新紙幣の流

省並に大學教授より簡任技正

本に出張し農林、商工

地始め各地の中學校長百數十地始め各地の中學校長商業學校講堂で全國中學校長

一、説會の辞

ムは

會議次第

志速に王道樂上

の理想を顯現

歩を進めつるある、即ち中央逐次統一ある國軍建設にその

きのふ着京

二荒芳德伯

る補洲國の淮展を支配する重

局が産業立國た 制を審議中であ が産業立國た

全國中等學校

長會議

想よ出い

開

でハルビンへゆき二十二日午中等學校の参觀などを終へ二

日本が満洲を搾

可を仰いで發表される事とな で変数局と陸、海南宮時間に審 を考證を終へたので近く御裁 を表記を終へたので近く御裁 を表記を終へたので近く御裁

バイアン男假は十七日午前満洲の墜業を調査中であつ

投資團代表として大連に於て《神戸図通』ペルギーの滿洲

新京梅ケ技町一丁目

是非御立寄りの程を!

電。四七九〇番

二 十 知 日より らせ 3

左の通り擴張移轉開店致しま 一層御愛顧の程御願申上げます 新京日本橋通り一七 中谷時計新京支店

きことを約し、この収決めに 共同して國家の防衛に當るべ 共同して國家の防衛に當るべ

至つた、邊境防備としては礁奥、装備の改善も行はれるに去に努むると共に、制度、絵

が編成され、江防艦隊は

に實現して金融妖態革新の甚 幣の信用を掛大し永年の間懸 窓であつた幣間の統一を如實

右根本方針の主旨に基き政府 で最等なる手段として國防的 若しくは公共公益的性質を有 する重要事業は國營、公營又 する重要事業は國營、公營又

日満親善教育が主なる議題 1 質表摔呈の件決額 2 成謝狀呈上の件決額 2 成謝狀呈上の件決額 べき良案如何 べき良案如何

事

往

本大岩勇夫氏(名古屋市長) 以下十名十七日午後三時二十五分荒吟市から同日午後 四時三十分競内地へ 四時三十分競内地へ 長)十七日午後四時三十分 競大連へ

益が一部階級に壟断さる 特に、民の驅利を軍んじその 生計を維持するために生産、 増費の両方面に亘り必要なる 調節を行ふことにより國民經 では滿洲國建設後の四国の情勢 

無済部門には関家的統制 加へ合理化方策を講じ 加へ合理化方策を講じ の粹を蒐めて之を適切に到技術経験、其權威有る文明技術経験、其權威有る文明大・管理、 **幕舎的静達を図る爲め重要** 有效に開設し經濟各部門の 一、関内賦存の凡ゆる資源を 利漁の開拓貨幣の獎勵 は第二段とする事になった。 6のは交通事業で、 満洲國の (手し抽速主義により速成を無み)関防生産開發を第一に

克線、敷岡線は既に開通し、郷營建設を満鐘に依託し、海

特報處岡田氏市東京日日新聞社記者岡田益市氏は満洲國々称院情報處に青氏は満洲國々称院情報處に十八日龜谷事務官同道就任挟行人田龜谷事務官同道就任挟

は一億四千萬圓に達

密ならしめる事を四大根本の相互扶助の關係を益々緊 の相互扶助の關係を益々 東亚經濟の融合々理化を

> 開店御 月

何卒

電話三八五四

衛成病院 神波日御芽出度い承認肥念日 を完全のに日瀬神周のため機 地であれた友邦日本の傷病

感謝状

菱刈大使に

和會から

こんなに色々気をつけてよきマダム振りを示したとしても夏物の跡船末などを放つておりますから、たとへたつた一度しか手を通さなかつたものでも数理して置かればなりません、これまで氣をつけてしまった方がカビの生えたりする心配もありません、これまで氣をつけてしまった方がカビの生えたりする心配もありません、これまで氣をつけてでは替さん、そのおつまりですから忘れないことですから忘れないことですから忘れないことです。

廿五年を經、内鮮の融和は東

神宮前に建立

れが大切です。火が

火鉢まで

#### 秋の毛拔

りると物理療法 故毛する時で 技毛する時で

を歎

市の各小學校女學校の學

▲馬淵孝治氏、富士町三丁目十四番地)男方良さん十五日午前三時五十分祈亡
本大家清塚氏(和泉町一丁目十一番地)十七日午前三時
死亡
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)十七日午前三時
・ 一番地)二十五分死亡
・ 一番

動動の動物の

のの

をので肝油の酸毛力も多いで 整の主成分を原料に造られた に対して、 をので肝油の酸毛力も多いで に対して、 をので、 に対して、 にがして、 にがしまり、 にがして、 にがして

七日執行、十一月三日の明治 簡に除幕式を擧行する豫定で ある工事費は十萬圓で記念塔 は總花崗石で高さ卅尺の北美 なもので塔の中には伊藤、山 形、桂の諸公を始め日鮮の路 十四百餘名の名土を取めて永

新京神社

お客銭七百圓近でもなる 大四十五の兩日におゆるお妻 十四十五の兩日におゆるお妻

國立醫院官制

拔毛の惱み解消方法!

社の学生の対域して数々の財団品を携へて午前十時新京領民を持って中立の長いのが年少女を代表して自衣の長いさん達を慰め心からなる感謝の意を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れ収兵を表したが、死をも恐れの場面の少年少女達の財団の場合の場面を表したが、発しいも満親着の場面を表したが、発しい日満親着の場面を表した。

人は朗らか

代的發毛手段という場合には無駄に終根を失つた場合には無駄に終根を失つた場合には無駄に終 の手段を大別する 太陽燈の 煙布内服と色々あります。 は、注がレン を 主 す 又 近 頃 は 國産品 として 豪毛 と まっ 取り 皮膚科 方面 に 好評を 博 して を ります、 これ はつ は ば これ はつ は ば い か が 皮膚科 方面 に 好評を 博 の 刺戟を 奥へる と 云 ふ 變 つ た のであります。

根を失つた場合には無駄に終り易いのです、薬物療法の近代的酸毛手段として注射には

セーンやビルミンなどがあり
注射と内服を續けますと相當
の効果を攀げることが出來ま
す又歐洲大殿のころ羊毛をふ
やすためドイツではフマダソ
ランといふ薬物を羊に與へて
羊毛の牧獲を敷倍にしたこと ン、フマメラソンいづれも毛になつた、セーミン、ビルミルちこの、内服薬は一躍有名のと、セーミン、ビルミル 皇帝の寫眞禮拜 全滿天主教々會

表る四月十四日ローマ法皇院 し関立國として承認ガスペ司 数を送り去る八月卅一日その 如くであるが、新京にあるカ ツリック編洲代表部では全議 の同教會堂に滿洲國皇帝の御 富真を安置し天壽萬歳を祝福 する事となつた を では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、 では先づ第一段として吉林、

秋季清潔檢查 廿七日から

の準

公布さ

れる筈である

六、〇〇午前之

六二〇ラ

▲月の

九 州 製 市 京 早 山 智

製油の

所所社就

淌

洲

總 代

理

店

州 製 山 製 山

御宴會

耐及其の職員官等俸給 ことゝなり十四日國立 と、なり十四日國立

新京警察署管内、秋季清潔方 世られることに決定、その詳 をられることに決定、その詳 れた條通、書容官吏派出所管内 をを言吏派出所管内 をを言吏派出所管内 をを言吏派出所管内 院を通じて左に見るを定む に疾病の診療院は民政部大

民政部は関立医院官制第二族により醫院の名稱及位置を左の通り定めた 名 稱 位 化合物黄酸立锈院 哈爾賓 五三八一六 〇、 五九

Ó

花王石絵株式會社長瀬高會で は満洲腰への販路擴張のため 先頃から全満に亘り大々的宣 先頃から三日間雪樂隊を先頭 正數十名の宣傳隊が最瀬商會 に數十名の宣傳隊が長瀬商會 花王石鹼會社の 宣傳隊活躍

育区区

店門專而室 會商間岩 部 后 室 七 市 の 三 電 通 央 中 京 新

本小空吉秋氏《羽衣町三丁目 三番地》次女良子さん入日 出生 一四方幸三氏(白菊町二丁目 三番地)男骸さん十日出生 地)男骸憩さん七日出生 地)男骸憩さん七日出生 地)男骸憩さん七日出生 地)男骸憩さん七日出生 地)男骸憩さん七日出生 地)男骸部さん七日出生 大子三番地)号男八日出生 十三番地)号男八日出生 十三番地)号男八日出生

す五日午後六時十五分死亡二十五番地〉長女民江さん十四日午後六時三十五分死亡十五番地〉長女民江さん十四日帝地〉長女民江さん十四日帝地〉長女民江さん十四日帝祖宇治氏(中央通り四十四生

滿人少年少女

番 ( 滿語 )

膏

人樣迄の

大小

御宴會に

描き

3

れ

た

躍

交

史衣の季節 衣類の御用意は? 手入れこ後始末

る努力と殊勳に對して滿腔 の御好意を空しくしたくないと考へてゐる、協和會は 時局の重大性に鑑み最近內 時局の重大性に鑑み最近內 時局の重大性に鑑み最近內 時局の重大性に鑑み最近內 時局の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑み最近內 時間の重大性に鑑みであるが誠 に喜ばしい今後共一致陶結 に喜ばしい今後共一致陶結 に高がしてるるが試 になるべく活動して貰 りたい

突然とり出すと、エリ

また新京領事網營察署管内は 左の通り施行せられるはず へ九月二十七日 北門外派出 所管内(南嶺を除く) へ同二十八日 南嶺、寛城子 の同二十九日 南嶺、寛城子 都警察廳

記念に

韓合併

後一時より四道街警察署講堂首都警察廳に於ては十八日午 **秋季劍道八會を開催す** 忠大阪氏指揮の下に代理店富 と大阪氏指揮の下に代理店富 をは新京神社の秋季大祭日だ では新京神社の秋季大祭日だ

10、四0 器 

◆内海宮雄氏羽衣町から露月町二丁目三十二番地へ ・ 本部の二丁目三十二番地ノニへ ・ 本部本は氏露月町から益湾 ・ 京第五十六號室町から益湾 ・ 京第日通り三十三番地ノニへ ・ 京都日通り三十三番地ノニへ ・ 京都日通り三十三番地ノニへ ・ 京藤日露男氏西五馬路から ・ 羽衣町二丁目二百六十六番 ・ 一位科季雄氏曙町から入船町 ・ 一位科季雄氏曙町から入船町 ・ 一位科季雄氏曙町から入船町

鳥あら

111,00 御一人樣 宴會

特別料理十品 ▲花の

完

備

4

3

CONOCO

料植物 型 錄 進 呈

御料理九品

00

食勁重潤機

新商會

阻

紫信略ニホウテンオイル 受電話ニローハ西

邁されました の優良潤滑油として推 の優良潤滑油として推

地家屋賣

問合セ 小所 電吉 話野 二町 五

二五 三丁

番目

却

00 電話 吉智町二丁目 ハ七番 000

内地みやげは、高級果實 二十五日より 小包便 へ御送りの取扱を 新更

哲学士上 朝日通 電話五七九五 P 齿齿

京京

談下さいませ お座敷女中さん五名募集 が座敷女中さん五名募集 急

士町二丁目新京ホテル隣



り領手足指の問股間にムズ

全國の有名な際店百貨店

形れず離れず解まず耐も早く然め 渗透療法の威力

峽谷の秘醸 深山の仙酒 酸火の凝崖の彼方に、廣い作

體験を俟つ 屈拔きで をて野ますが、此の線・画巻金融は、 きて野ますが、此の線・画巻金融は、 三百有線紙の父しき間・多数の電観 着によって此上もない好いものと総



病膚皮キュカズム し試御けつーもせあ



販御試しの上御評策を続ひます



新鮮·偏良 内外第一品

全身総き吹出物いる(のかられ

はたけ、ひげそりあとのかぶれ、

南京地域重新地の宗ニキン

んきんだむし汗母だられ、 カユキもの出来たる時が出い

迅速叮嚀 表替裏替

> 鶇殿新十 東一條通消防幹機

爽かな秋!! まさに寫真の候

照通可學在住上 林門寫真衛 野京中央消警察署向

新着品牌 ・甘酒の罐 ・松茸味淋 ・緑花實の罐 ・緑花度の罐 ・緑花度の罐 ・緑花度の罐 ・緑花度の罐 ・緑花度の罐 ・

引越荷物建築材料運搬

均質年到 脱脂乳 基主三宅演 21

牧場・

設備を誇る

最も理想的



門書である。老年期の人は必讀せよ! 関の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも真の成功は四十から! 四十、五十にして早くも 老表者は若返へる一 授理學博士 **并本運送店支店** 新京祝町二丁目 千代松著

日本名物 いま味の素 音はリキシャ 店商水 齢 社會式体 館本菜の味

> 鍋料理 11 家族的に御利用の程を…… えなべよし場 閑靜で たは特に安く御相談に でます!! 小鉢物色4

東京築院 東京藥院

一世其の他人間も髪のあるべき歌い、既ぎます、既ち愛愛、聞も、 ちゃい

●田中醫學博士方劑 ●說明書無代進呈 野の観出を促進し、その脱密度び雲間を田中醫戦博士副製の毛生え乗フミナインは宅 え 藥

のみのコバタ ご常用 之助樣 小僧菊 べん天



東店ニアリ



中央通西公園前 を話五八〇三世

午前鸡時——午後六時

水道の故障は 新京中央通四十二番地

電話四八二

八五 六二番



# 参拜者相つ<br /> でく新京神社

機の態度を忘れず非常なる盛 機の態度を忘れず非常なる盛

英靈を慰め るお婆さん語 同時に全市電燈を明して三十

講賞につい

に、下級生は寛城子へ赴くは ずで、一般市民を代表して荒 本時局後接會長、小澤風長は 排げることになつてゐる、當 日は満電パスは特に五割引に なつてゐるが。時局後接會で

の参列を希望すの意外を希望する。 末次司令官以下

民大連國通』 長山列島沖に於 を職職を取りる。 大港した、港頭を駆する我等 が無敵艦域、準備全く成れる 市中敷迎陣、器に陸に奉げて を事色が彩られたが、聯合機 を動きがある。 を関する。 をしる。 をし。 をし。 をしる。 をしる。 をしる。 をしる。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし。 をし

**△第一艦隊司令長官** 

(第六殿隊)司令官 斯見大佐 聽耶 岡 新見大佐 慶子 同 宮田大佐 慶長 南雲大佐

# SOUTH COS.

合艦隊將士來訪二

"

次司令長官以下

海の勇士續々來京

(第一殿殿) 司令長官 末丈大將 (第二水雷殿隊)

十一時三十分 新京一泊二十 一時三十分級 一時三十分級 一時三十分級 一時三十分級 一時三十分級

驛頭に出迎へるはずで一般はつた、當日は日滿官民總出で

(年二漕水戦隊) 

聯合艦隊司令長官末次閣下以下縣出身將士ヲ國都ニ迎フルニ際シ些カ歡度候ニッキ左記御了承ノ上成ルベク多數御多集相成度候 記し、関遊會 東市長世前四時再である。 一、出 迎 カーナルロ午後七時半新京着 一、 園遊會 東市長世前四時再である。

見

送

十一日正午哈爾宮へ出發(飛行機) 一十一日正午哈爾宮へ出殺(飛行機) 一十八日午 後四時迄 = 市公署 開催(十八日午 後四時迄 = 市公署 地方事務所へ申込ノコト

(第一航空戲歌) 司令官 第八潛水隊司令 大會を開催するはず一時から南嶺英震塔前で相撲 南嶺で相撲

聯合艦隊歡迎

母艦赤城艦長

記念スタ

クで同様演奏會が開催され

公開

第七潛水隊司令

熊本縣人 (縣下 中學校長歡迎會の件) 告ぐ

越子獅子

使用す) を表は を表は を表は

一フェル原作

便楽書の引受 料金を完納し 料金を完納し 関語で同二道涛

北海道樺太人會事務所ニ至急御申出致シ度キニ付右事務所ニ至急御申出追而新名薄作成ニ付新京在住同人諸追而新名薄作成ニ付新京在住同人諸追而新名薄作成ニ付新京在住同人諸追而新名薄作成ニ付新京在住同人諸 相致氏追

の御愛顧賜度不敢取 土建木築 請 ケ枝町版以紙上御

**塩金女女給かり おりまた** 四井け五大方

一丁目六番地の通知労々個願申上候の通知労々個願申上候

移轉御知らせ

\*\*\*数数名名 人事係

石である 相待して爬大な 相待して爬大な

司令官の思ひ附

世のあらゆる女性に此の一篇を捧ぐこれは安價なるニロチック映書ではありません最も大切でありながらともすれば忘れらありながらともすれば忘れら

演主子弘崎川●貢井藤

北

Z ...

親切

叮

新京歸前羽衣町一

京

圓

宿

事變を銘記

置

八日より

日間上映

斷然

腹の底

力

組合長

和會長吉村元七 和會長吉村元七 を要し和成公司 を要し和成公司 大見事の出來榮

けぶの銀相場 金票對國幣 15円3番 金票對國幣 25円3番 か三円3番 か三円3番

書の

吉三

PAR 島

-F

主演

第一点 次 洗 布 所 第一点 次 洗 布 所 名 第一点 入 洗 布 所 名 第一点 名

吉野町五丁目十

0

娘幣

日は料金を完納した書状及郵便集書にして引受消印の希望を以て郵局窓口に持多差出したものに使用する一分の一次の一次の一次の一次の一分の一次上記(イン)の一分中以上の郵便販書並は料金を決納の郵便販書並は料金を一分中以上の郵便販書並は料金を一分中以上の郵便販書が上記念という。 強べて腹の底から銘配しやう との思ひ付きから井原對馬型 窓司令官は開東軍を通じて右 名物の斡旋方を依顧して來た が、満洲事情案内所では奥村 所長以下この思ひ付きが一方 には満洲物産の紹介ともなる 大いに意義あるものなので、 最も満洲の香を持つ左の如き 品を選擇し十八日の記念日に 品を選擇し十八日の記念日に

水 香菜 山 麗三八三光 子郎郎明稔

●品作豪互の中作名□プ太右

だち

根學東一郎監督作品 等 三 撰 組悲歌 于三千

十十十日事集

部氏名

奇 座<sup>插</sup>

第二驅逐隊司令

能臟殿長

据原大佐

體驗司令長官

慶應看護婦會 看 護婦 附

御希望ノ方へ御申込ァ 乞ァ 温和ナ婦人ヲ求ム慰切ニ御世話ス 包話五六六九番

本年ノ總會以來會員各位ノ努力ニ依ツテ発意更生ノ途ヲ辿リ來ツタ我縣人會テ至急名簿ノ完備ヲ期シ度イト存ジマテ至急名簿ノ完備ヲ期シ度イト存ジマテ五カラ左記ニ依リ精々入會ノ御申込ヲスカラ左記ニ依リ精々入會ノ御申込ヲ原ヒ度

一、中込場所(イロ、買っ、新會則及新役員其他ノ要領へ事務所へ御問合セノ、新舊會員ニ拘ラス更メテ御申迄ノコト

1110六香 二六〇七番 三五七九番 二九四七番

縣 三七八六番 五九三〇香

さすがは運不だ、斬られるま

称です、雨も大したことはなし、

満洲丸

らずと言うブラ

歴 浦 羽

然りがついたらお前の胸も借り

「カムおいは何既ぞの戻りか」

日那は他の概案ですね

五

高系能生

(六

吉原娼妓 (禁止般) 万ž **行友李風階作** 景世

探索の手は急に進んだる

おく、際研究の路台かり

習者は評価を承はつてみる間と同時に二人はいった。

築に走れば窮乏の恐れあり六白の人 幸運に安んじ虚

歌下水に不動の小子といる機器

本所希望の消炎といふ聞つりから

5 大阪商品出収

新京百名物千草《設供

正元誇

校看座惠由

八日心一時代 電話五三九三番へ 各種木炭專門 命 11 松尾二 商井店

(日、曜 水)

三十はそれを以来つてみたが、

子分の九八といい青を連れて自宅

に励る途中・兩國で一杯やつて石

清津

毎の前七腕者

差非 弊店へ

生

京

番九七五五話電

循環清淨機設置

安全・優美

京説町新京☆

滿洲製油紫會社

|割引、汽船一割引、

其他一般貨物の専用線土 木 建 築 材 料

四二三等船客数備船<br/>
本印 版 島 寄 港<br/>
本印 版 島 寄 港<br/>
(午前十時大連出記)<br/>
「午前十時大連出記)<br/>
「一日」<br/>
「一日」<

東京人

京東 合待内 店本登錄 一种町明神區的 ===六(10)電

手 ▲御仕立の御注文も致します▼ 新京大和通七七(八島偕角) スワ

特に格安に御相談を申上ます 春天 台紙 丁場 若松町四一窓天、安店大連、ハルビン、窓天城内窓下、安店大連、ハルビン、窓天城内

リエンタルフィルム フィルム 寫眞機材料專門

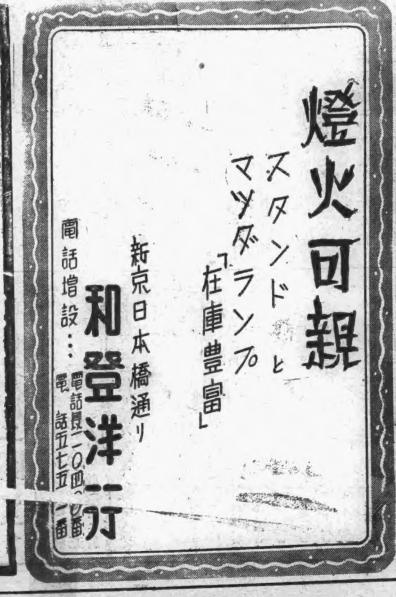
會強木材洋行支店

電話五六六条 で街老松町

光く血は 他個そのもの 躍り

を品質流地各の評好御 候申へ揃取け受引





粧

院



